



<目次>

P2 医療人

P3 マスク着用による熱中症にご注意ください

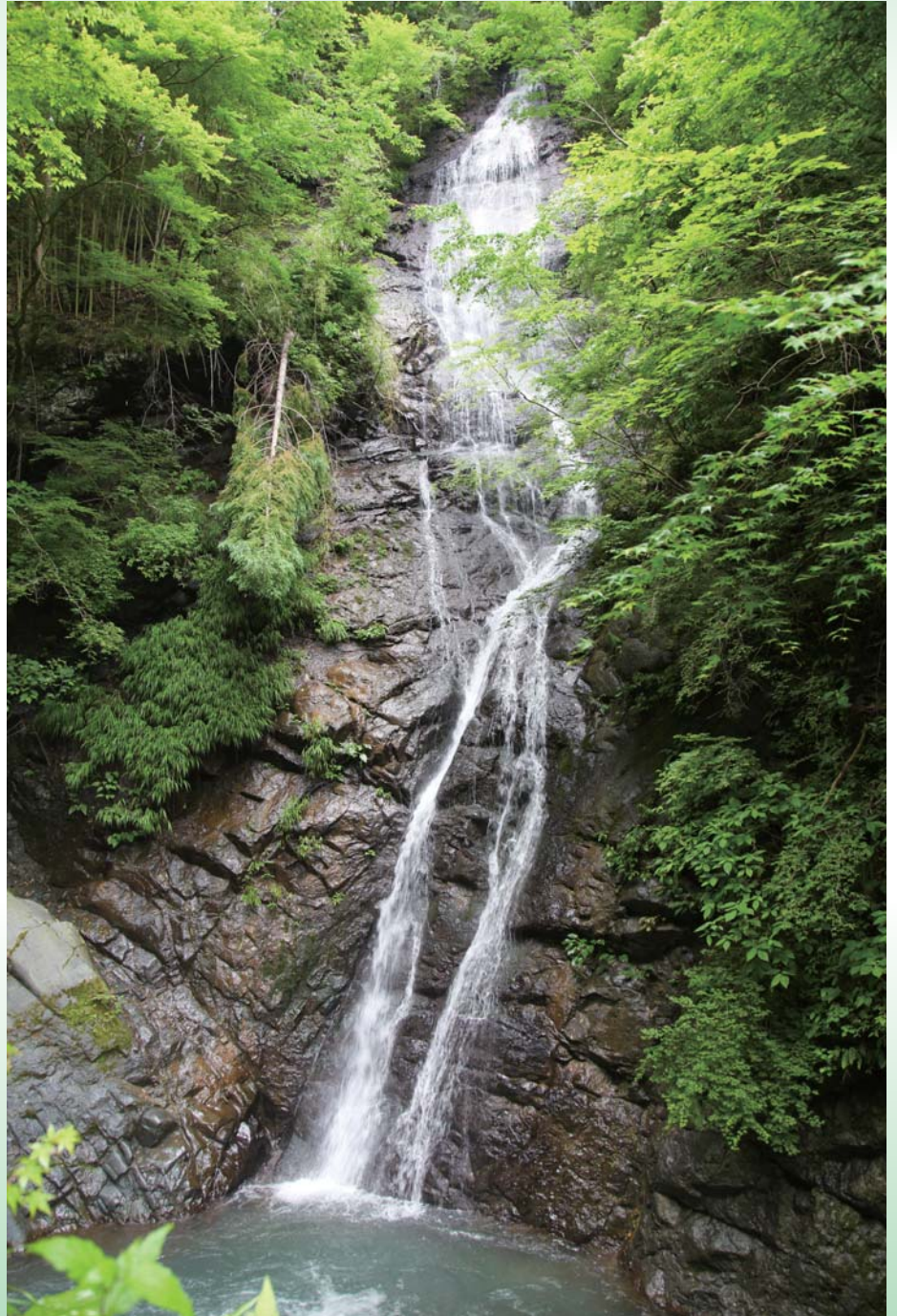
P4 就任ごあいさつ・新任医師紹介

峡南医療センターだより

大柳川溪谷 観音滝

豊かな自然が溢れる大柳川溪谷内には、全国的に珍しい「く」の字に曲がる階段橋や、「見上げると観音様が見える」という古い言い伝えがある観音滝など5つの滝と10本の吊り橋があります。溪谷内は、初夏には新緑、秋には紅葉と四季折々の自然を満喫することができる散策コースが整備されており、人気の観光スポットとなっております。

峡南医療センターは発足から7年目を迎えます。今まで以上に2病院・2介護老人保健施設が一つとなり、医療・ケア機能の強化及び経営改革を推進し、地域住民に期待される医療サービスを提供できるよう取り組んで参りますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。



発行元

峡南医療センター企業団〈山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢340-1 富士川病院内〉

TEL:0556-22-3150 FAX:0556-22-3151 URL:<http://www.kyonan-mc.jp/>

市川三郷病院 TEL:055-272-3000 富士川病院 TEL:0556-22-3135

ケアセンターいちかわ TEL:055-272-5121 サンビューふじかわ TEL:0556-22-7301



住民の皆さんに峡南医療センターを身近に感じていただきたく、現場で働く職員を紹介しています。第20回目は富士川病院に勤務する社会福祉士の河西瑠美さんです。

インタビュアーは、富士川病院看護師の雨宮夏江さんです。

Q：社会福祉士になった動機を教えてください。

A：看護師をしている父の影響もあり、学生の頃から医療の仕事に興味を持っていました。その中で、医療現場で治療に直接携わるのではなく、患者さんの“生活”を支援する社会福祉士という仕事の存在を知り、興味を持ったのがきっかけです。治療後も続く患者さんの生活をサポートしたいと思い、社会福祉士の仕事に就きました。

Q：医療相談室の役割を教えてください。

A：外来患者さんや入院患者さん、そのご家族などの相談に乗り、問題の解決策と一緒に考えていくのが医療相談室の役割になります。入院中の金銭的な困りごとや介護の心配などに対して、医療や介護・生活に関わるさまざまな制度の知識を活かしながら、利用可能な制度や関係機関に繋がっていきます。

また、他の医療機関や施設と連絡調整を行い、患者さんの治療に必要な情報の共有を行う役割も担っています。

Q：普段の仕事で大切にしていること・心掛けていることを教えてください。

A：患者さんの想いに寄り添うことを心掛けています。病気や怪我の回復状況次第で今後の生活というものは決まりやすいものですが、まず大切にすべきことは患者さん本人が何を希望しているかだと考えています。私自身もこのことをつい見失いがちですが、社会福祉士として、患者さんの希望を第一にできるよう意識しています。

Q：富士川病院医療相談室のアピールポイントを教えてください。

A：明るく、相談しやすい雰囲気のあることが医療相談室の魅力だと思います。どんな困りごとでも、ないがしろにせず相談に乗りますので、患者さん本人やご家族だけで悩むのではなく、お気軽にご相談ください。

Q：最後に、現在は新型コロナウイルスで大変な時期ですが、自粛中の過ごし方を教えてください。

A：音楽を聴くことが好きなので、好きな歌手のライブ映像を観ています。特に邦楽・洋楽のロックをよく聴きます。また、料理の勉強を最近始めたので、レパートリーを増やせるよう練習しています。今までと同じ生活に戻るには時間がかかりますが、皆さんが健康で、充実した時間を過ごせることを願っています。



インタビュアー
富士川病院
看護師
雨宮夏江さん

マスク着用による熱中症にご注意ください

今年、新型コロナウイルス対策によりマスクを着用しての外出が増えています。マスクを着用することで、体内に熱がこもりやすく、のどの渇きも感じにくくなり、知らないうちに脱水が進んで熱中症へのリスクが高まります。夏のシーズンに向け、マスク着用で起こりやすくなる熱中症についてお伝えします。

■マスクをつけることで、なぜ熱中症になりやすいのか

マスクをつけることで、顔の半分がマスクで覆われてしまいます。人は皮膚から熱を放散することで体内の体温調整を行っています。マスクをつけて過ごしていることで体内に熱がこもりやすくなっています。

また、マスクをつけていることでマスク内の湿度があがり、喉の渇きを感じづらくなる傾向や、マスクを外したくない思いから水分摂取を控えてしまうことで、脱水や熱中症になってしまう可能性が高くなります。脱水になってしまうと潤いが足りず、体外に異物を運び出すことができなくなり、ウイルス感染を引き起こしやすくなります。熱中症にならなくても、脱水はウイルス感染のリスクを高めますので、室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう。大量に発汗する状況では、経口補助水(水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの)など、塩分等も含んで補給しましょう。

■屋外でもマスクをつけないとならないのか

気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意です。農作業や散歩など屋外で人と十分な距離(2m以上)を確保できる場合には、マスクを外しましょう。

■新しい生活様式における熱中症予防行動

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染予防の3つの基本である①3密(密集、密接、密閉)を避ける、②マスクの着用、③手洗いや、身体的距離の確保等の新しい生活様式が求められています。このような新しい生活様式における熱中症予防のポイントは以下のとおりです。

1. 暑さを避けましょう
 - ・エアコンを利用する等、部屋の温度をこまめに調整する
 - ・急に暑くなった日等は特に注意する
2. 適宜マスクをはずしましょう
 - ・マスクを着用している時は、息のあがるような作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとりましょう。他人との接触のないスペースでは、マスクをはずしましょう
3. こまめに水分補給しましょう
 - ・のどが渇く前に水分補給
4. 日ごろから健康管理をしましょう
 - ・毎日本体温測定、健康チェック
5. 暑さに備えた体作りをしましょう
 - ・暑くなり始めの時期から軽く汗をかくような運動を

善意ありがとうございます

峡南医療センター企業団に匿名で「ポケットレインコート」120着をご寄付いただきました。今回ご寄付いただいた「ポケットレインコート」は、医師や看護師がPCR検査等を実施する際に活用させていただきます。感染症対応の資材が品薄となっておりますので、今回のご寄付は病院で有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。



峡南医療センター企業団に匿名で「新型コロナウイルスに対する医療従事者の皆さまへ感謝を込めて」10万円のご寄付をいただきました。企業団の運営に有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

峡南医療センター企業団に山梨ヤクルト販売株式会社様より、福祉ヤクルトの収益の一部から車椅子1台を寄贈していただきました。多くの患者様さまに有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



就任ごあいさつ

峡南医療センター企業団 経営管理局长 山田 芳男



このたび、令和2年4月1日付けで経営管理局长を拝命しました山田芳男です。今回このような大役を仰せつかり、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

峡南医療センター企業団は、平成26年4月の開設以来6年を経過し、平成29年度からは「峡南医療センター改革プラン」を策定し、市川三郷病院及び富士川病院の病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組んでおり、平成30年度決算からは黒字に転じることが出来ました。

5年後の2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上になることから、限られた医療及び介護資源を有効に活用して必要なサービスを確保するため、山梨県は地域医療構想を策定しております。また、平成30年3月には第7次山梨県地域保健医療計画を策定して、医療機能の分化・連携により、急性期、回復期、慢性期から在宅療養に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療が提供される体制を目指しています。これらの趣旨を踏まえつつ、山梨大学医学部附属病院などと連携し、これからも患者さんや利用者の方にとって最善・最良の医療・介護を提供できるよう努力してまいります。

現在は、新型コロナウイルス感染症への対応に全職員が一丸となって取り組んでいますが、診療・介護活動や経営への影響も危惧される状況であり、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

新任医師紹介

一人一人の患者さんに安心して頂けるような医療が提供できるよう研鑽を積んでいきたいと思いを。

【着任日】 令和2年4月1日
【診療科】 内科
【職氏名】 医師 高岡慎弥
【出身大学】 山梨大学 医学部医学科
【卒業年度】 平成24年3月卒業
【専門領域】 消化器内科



高岡先生

常に明るく笑顔で、患者さんに寄り添った医療を心がけます。

【着任日】 令和2年4月1日
【診療科】 内科
【職氏名】 医師 四方美穂
【出身大学】 山梨大学 医学部医学科
【卒業年度】 平成25年3月卒業
【専門領域】 腎臓内科



四方先生

患者さん一人一人に対し、丁寧な診療を心がけていきます。

【着任日】 令和2年4月1日
【診療科】 整形外科
【職氏名】 医師 河野紘之
【出身大学】 北里大学 医学部医学科
【卒業年度】 平成29年3月卒業
【専門領域】 整形外科



河野先生

患者さん一人一人に真摯に対応して参ります。

【着任日】 令和2年4月1日
【診療科】 整形外科
【職氏名】 医師 小泉良介
【出身大学】 山梨大学 医学部医学科
【卒業年度】 平成29年3月卒業
【専門領域】 整形外科



小泉先生

編集後記

峡南医療センターだよりをご覧いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染者が1月16日に国内で最初に確認されて以来、感染者数が1万7千人を超えていましたが、皆さんの感染症防止策により5月25日に緊急事態宣言が全面解除されました。

また、山梨県内では5月24日に約1か月半遅れの小学校の入学式が行われるなど、少しずつ平常の生活に戻りつつありますが、まだ終息には至ってありません。

これから夏を迎えます。熱中症に注意し、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなどをしっかり行い、感染症対策を徹底していきましょう。

編集委員一同